

12月の園だより

2022年11月30日発行

今年も残り1ヶ月となりました。この1年間を振り返ると、運動会などの行事を通じて子どもたちの成長がとても頼もしく感じられました。保護者の皆様にとっては、どのような1年に感じられたでしょうか。新型コロナや物価高など厳しい社会情勢が続きますが、これからクリスマスにお正月と年末年始に向けて楽しい行事が続きます。来年も子どもたちの笑顔がたくさん見られるような保育園であるようにしていきたいと思ひます。

本年も、園運営にたくさんのご理解とご協力を賜りましたこと、大変感謝しております。来年も引き続きよろしくお願いいたします。

中宮まぶね保育園 園長 松尾太郎

	日	月	火	水	木	金	土
12月の行事予定					1 焼き芋大会	2 発育測定 ダンス教室	3
	4	5 体育あそび教室 保育参加(0才)	6 保育参加(2才)	7 ふれあい 太鼓教室 保育参加(1才)	8	9	10
	11	12 体育あそび教室	13 英語あそび教室	14 太鼓教室 誕生日会	15	16 ダンス教室	17
	18	19 体育あそび教室	20 英語あそび教室	21 無料法律相談	22 クリスマス会	23	24
	25	26	27	28 保育じまい	29	30 休園日 (1月3日まで)	31

23日(金)まで個人懇談期間です。よろしくお願いいたします。

12月生まれのおともだち



社会福祉法人 日本コイノニア福祉会

中宮まぶね保育園

〒573-0011 枚方市中宮山戸町15-1

TEL/072-840-2780 fax/072-840-3212

E-mail nakamiya-encyo@koinonia.or.jp

URL <http://www.koinonia.or.jp/nakamiya/>

年末年始のお知らせ

12月29日(木)～1月3日(火)は休園日です。保育はじめは1月4日(水)ですが給食はありませんので、お弁当をご用意ください。よろしくお願いいたします。



「さあ、ベツレヘムへ行こう」(ルカによる福音書 2章 15節)

今年もクリスマスの季節になりました。「早く来ないかなー」と心待ちにしている子どもたちの姿が目に見えびます。クリスマスが待ち遠しいのは、サンタさんがプレゼントを持って来てくれるからでしょうが、その背景にあるのは神様の目が小さい人や弱い人に対して向けられているということです(だからサンタさんは、子どもにプレゼントを届けてくれます)。聖書によると、神の子イエス・キリストは、最も弱く小さい存在である赤ちゃんとしてベツレヘムで生まれ、「まぶね(飼葉桶)」の中に寝かされていました。そしてその「救い主の誕生」という嬉しい知らせを、最初に天使から告げられたのは、貧しく身分の低い羊飼いたちでした。彼らは大変驚き喜んで「さあ、ベツレヘムへ行こう」とすぐに立ち上がり、夜も明けぬ間に赤ちゃんイエス様を探し出しました。

何かあるとすぐに「見て」「聞いて」と言ってくる子どもたちは、自分が見守られていると分かると安心します。クリスマスにイエス様と出会った人たちは、そのように自分たちも神様から確かに見守られていたんだということを感じたのでしょう。神様はどんな小さな命も大切にされる方です。私たちも、その喜びを隣の人たちと一緒に分かち合えますように。あなたからの一言や、小さな行動を喜び人が、周囲にはきっといるはずで。このクリスマス、私たちはそれぞれが持っている小さな灯を、お互いに灯し合い、周囲を明るく照らしていくように導かれていきます。

チャブレン・牛田匡

